

東証プライム 4631

# DIC株式会社

2024年度第2四半期決算説明資料

2024年8月



DIC株式会社

# ハイライト

## 2Qの振り返り

### 売上高

**5,388**億円

前年同期比 **+4.6%**

### 営業利益

**219**億円

前年同期比 **+120.3%**

## 通期の見通し

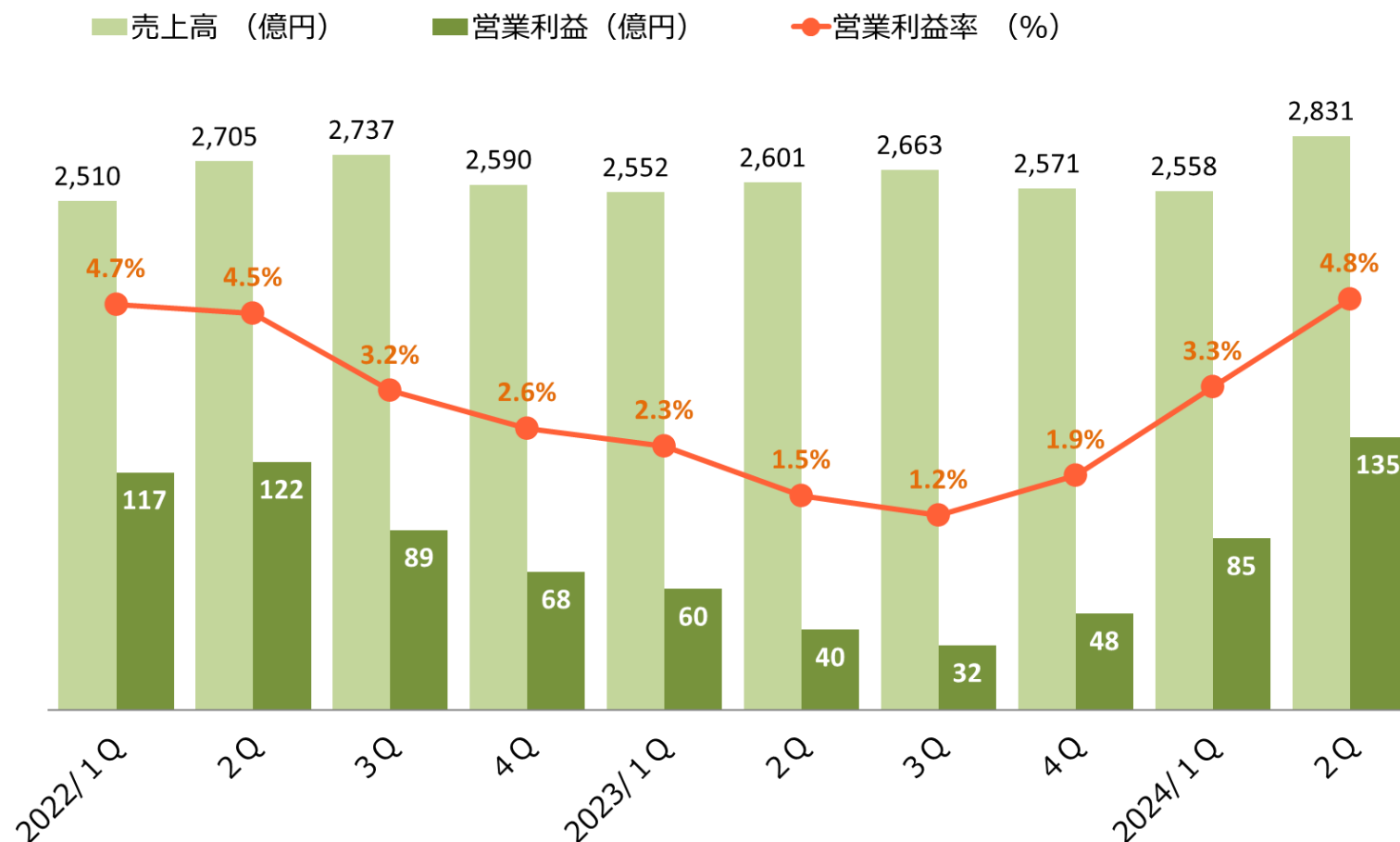
### 利益を上方修正

- パッケージ用インキは、海外ではインフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りに応じて出荷数量が増加した
- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷が増加した
- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷数量が増加し、品目構成が改善したことに加え、値下げ圧力があるなか米州や欧州で印刷インキの販売価格維持に努めた結果、増益
- カラー & ディスプレイは構造改革を進めコスト削減に努めた結果、黒字化
- 売上高の見通しは修正無し。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正
- 年間配当は100円の計画で変更なし

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2024年1月1日から6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

# 四半期業績推移

■ 四半期営業利益は2023年第3四半期を底に改善



# セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

## パッケージング & グラフィック (パッケージ用インキ、出版用インキ※)

2023年				2024年	
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
△8%	△10%	△8%	△4%	△1%	+2%

## カラー & ディスプレイ (顔料製品)

2023年				2024年	
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
△18%	△17%	△11%	△9%	△4%	+15%

## ファンクショナルプロダクト (数量をkg単位で計測している製品)

2023年				2024年	
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
△15%	△10%	△4%	0%	△1%	+5%

- 米州・欧州では、インフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りによりパッケージ用インキの出荷数量が増加した
- アジアでは、中国での顧客開拓や、東南アジア・インドでの需要回復により印刷インキの出荷が増加した
- 日本では、物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり、パッケージ用インキの出荷数量が伸び悩んだ

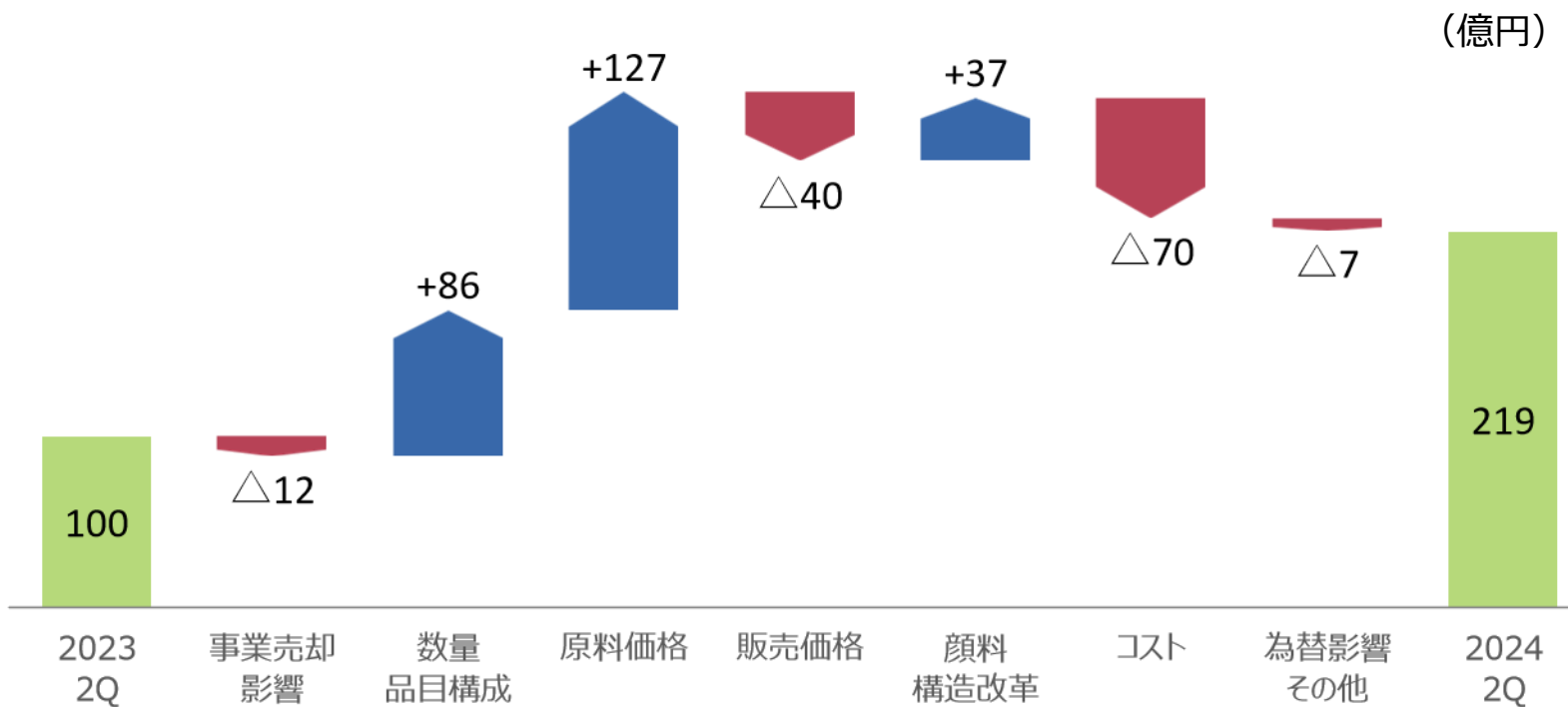
※新聞インキを含む

- 顧客の在庫調整が終了し出荷数量は増加傾向にあるものの、期初の見通しよりも顧客の需要回復は遅れている
- ディスプレイ用顔料は、パネルメーカーの稼働率改善に伴い、2Q(4-6月)に出荷が回復した

- モビリティに関連した製品の出荷が増加した
- 電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野では、サーバーやPC、スマホ向けが好調となったエポキシ樹脂を中心に出荷数量が回復しつつあるが、本格的な回復は下期以降となる見通し

# 営業利益増減要因

- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷が増加し、品目構成が改善
- 原料価格が前年対比で下落傾向にあるなか、海外の印刷インキを中心に販売価格の維持に努め、増益



# セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q
<b>パッケージング &amp; グラフィック</b>	2,666	<b>2,864</b>	198	+ 7.4%	+ 1.3%	83	<b>163</b>	80	+ 96.4%	+ 99.3%	3.1%	<b>5.7%</b>
日本	614	<b>632</b>	18	+ 2.9%	+ 2.9%	16	<b>36</b>	20	+ 122.2%	+ 122.2%	2.7%	<b>5.7%</b>
米州・欧州	1,735	<b>1,870</b>	135	+ 7.8%	+ 0.1%	55	<b>99</b>	44	+ 80.7%	+ 88.3%	3.2%	<b>5.3%</b>
アジア他	389	<b>443</b>	54	+ 13.9%	+ 4.9%	13	<b>30</b>	17	+ 123.7%	+ 109.9%	3.4%	<b>6.8%</b>
連結調整	△ 73	△ <b>81</b>	△ 8	-	-	△ 2	△ <b>3</b>	△ 1	-	-	-	-
<b>カラー &amp; ディスプレイ</b>	1,178	<b>1,343</b>	164	+ 13.9%	+ 3.9%	△ 1	<b>4</b>	6	黒字化	黒字化	-	<b>0.3%</b>
日本	165	<b>170</b>	5	+ 3.2%	+ 3.2%	24	<b>28</b>	4	+ 14.7%	+ 14.7%	14.6%	<b>16.2%</b>
海外	1,088	<b>1,250</b>	162	+ 14.9%	+ 3.6%	△ 26	△ <b>22</b>	4	赤字減	赤字減	-	-
連結調整	△ 74	△ <b>77</b>	△ 3	-	-	0	△ <b>2</b>	△ 2	-	-	-	-
<b>ファンクショナルプロダクツ</b>	1,494	<b>1,391</b>	△ 103	△ 6.9%	△ 10.3%	67	<b>106</b>	39	+ 58.3%	+ 50.4%	4.5%	<b>7.6%</b>
日本	1,008	<b>878</b>	△ 130	△ 12.9%	△ 12.9%	25	<b>63</b>	38	+ 152.1%	+ 152.1%	2.5%	<b>7.1%</b>
海外	617	<b>676</b>	59	+ 9.5%	+ 0.5%	40	<b>43</b>	3	+ 7.3%	△ 2.7%	6.5%	<b>6.4%</b>
連結調整	△ 132	△ <b>163</b>	△ 32	-	-	1	△ <b>1</b>	△ 2	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 185	△ <b>209</b>	△ 25	-	-	△ 48	△ <b>53</b>	△ 5	-	-	-	-
<b>連結合計</b>	5,153	<b>5,388</b>	235	+ 4.6%	△ 1.5%	100	<b>219</b>	120	+ 120.3%	+ 116.7%	1.9%	<b>4.1%</b>
USD/円	135.88	<b>152.13</b>		+ 12.0%		135.88	<b>152.13</b>		+ 12.0%			
EUR/円	146.91	<b>164.43</b>		+ 11.9%		146.91	<b>164.43</b>		+ 11.9%			

# パッケージング&グラフィック

## 売上高

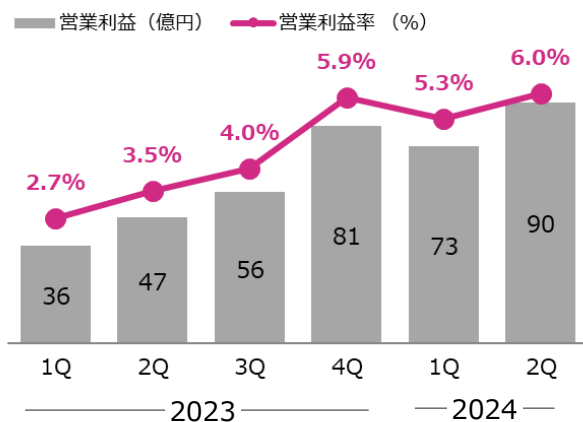
- 日本では物価上昇の影響で消費財の需要が低調となり出荷数量が減少したが、価格対応に努めた結果、増収
- 米州・欧州ではパッケージ用インキの出荷数量が増加したが、原料価格下落に伴う値下げにより現地通貨ベースでは前年並みの売上高となった
- アジアでは中国での顧客開拓や、東南アジア・インドでの需要回復により、増収

## 営業利益

- 日本では高付加価値製品であるジェットインキの出荷数量が増加したことに加え、遅れていた印刷インキのコスト増加分の販売価格への転嫁が進み、増益
- 海外では原料価格が下落局面にあるなか、安定した供給やサービスを通じて販売価格の維持に努めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	2,666	<b>2,864</b>	198	+ 7.4%	+ 1.3%	83	<b>163</b>	80	+ 96.4%	+ 99.3%	3.1%	<b>5.7%</b>
日本	614	<b>632</b>	18	+ 2.9%	+ 2.9%	16	<b>36</b>	20	+ 122.2%	+ 122.2%	2.7%	<b>5.7%</b>
米州・欧州	1,735	<b>1,870</b>	135	+ 7.8%	+ 0.1%	55	<b>99</b>	44	+ 80.7%	+ 88.3%	3.2%	<b>5.3%</b>
アジア他	389	<b>443</b>	54	+ 13.9%	+ 4.9%	13	<b>30</b>	17	+ 123.7%	+ 109.9%	3.4%	<b>6.8%</b>
連結調整	△ 73	△ <b>81</b>	△ 8	-	-	△ 2	△ <b>3</b>	△ 1	-	-	-	-

### 四半期営業利益/営業利益率



### 主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 3%	海外での出荷数量増加により、増収
出版用インキ*	△ 7%	アジアでは顧客開拓により増収、その他の地域は減収となった
ジェットインキ	+ 31%	顧客の在庫調整が終了し、需要が回復した
ポリスチレン	+ 2%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定により増収
多層フィルム	△ 6%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少

\*現地通貨ベース増減比

# カラー&ディスプレイ

## 売上高

- 顧客の需要が本格的には戻っていないものの、在庫調整が終了したことに伴い出荷数量が増加し、増収

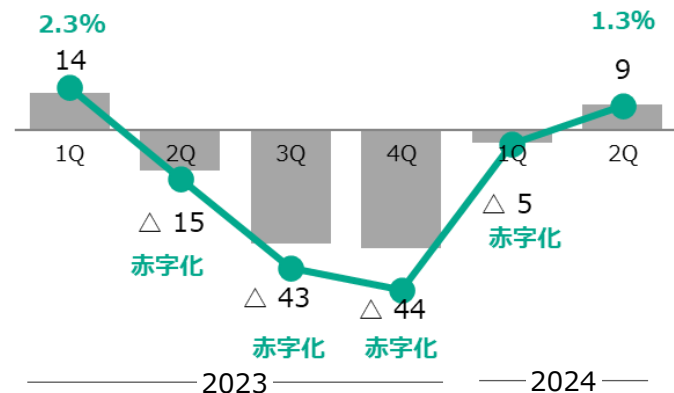
## 営業利益

- 出荷数量の増加に加え、構造改革の推進によりコスト削減に努めた結果、黒字化

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q
<b>カラー&amp;ディスプレイ</b>	1,178	<b>1,343</b>	164	+ 13.9%	+ 3.9%	△ 1	<b>4</b>	6	黒字化	黒字化	-	<b>0.3%</b>
日本	165	<b>170</b>	5	+ 3.2%	+ 3.2%	24	<b>28</b>	4	+ 14.7%	+ 14.7%	14.6%	<b>16.2%</b>
海外	1,088	<b>1,250</b>	162	+ 14.9%	+ 3.6%	△ 26	△ <b>22</b>	4	赤字減	赤字減	-	-
連結調整	△ 74	△ <b>77</b>	△ 3	-	-	0	△ <b>2</b>	△ 2	-	-	-	-

### 四半期営業利益/営業利益率

■ 営業利益 (億円) ● 営業利益率 (%)



### 主要製品の売上高推移

製品	増減比*	説明
顔料 塗料用	+ 9%	在庫調整の終了により出荷数量は増加したが、回復は緩やか
プラスチック用	+ 6%	在庫調整の終了により出荷数量は増加したが、回復は緩やか
インキ用	+ 4%	在庫調整の終了により出荷数量は増加したが、回復は緩やか
化粧品用	0%	米国や欧州で顧客需要が伸び悩んだ
ディスプレイ用	△ 1%	パネルメーカーの稼働率改善に伴い、2Q (4-6月) に出荷が回復した
スペシャリティ用	△ 3%	農業向けの在庫調整が続き、減収

\*現地通貨ベース増減比



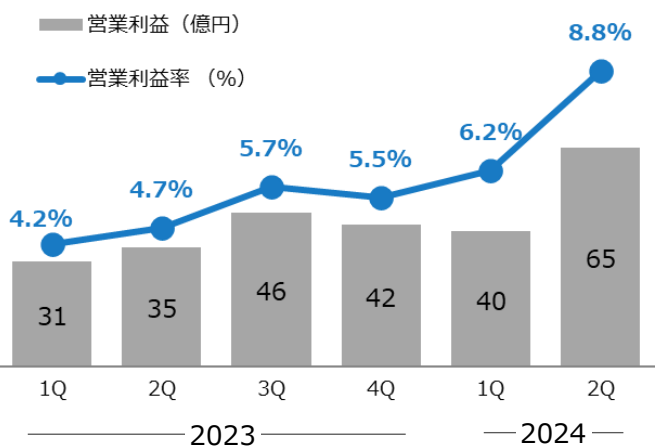
# ファンクショナルプロダクツ

- 売上高**
- ・ 星光PMCの売却等の事業撤退の影響を除外した場合の売上高は8.1%の増収となった
  - ・ エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷数量が増加した

- 営業利益**
- ・ エレクトロニクスやモビリティに関連した高付加価値製品の出荷が増加し品目構成が改善したことや、価格対応に努めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 2Q	2024 2Q
<b>ファンクショナルプロダクツ</b>	1,494	<b>1,391</b>	△ 103	△ 6.9%	△ 10.3%	67	<b>106</b>	39	+ 58.3%	+ 50.4%	4.5%	<b>7.6%</b>
日本	1,008	<b>878</b>	△ 130	△ 12.9%	△ 12.9%	25	<b>63</b>	38	+ 152.1%	+ 152.1%	2.5%	<b>7.1%</b>
海外	617	<b>676</b>	59	+ 9.5%	+ 0.5%	40	<b>43</b>	3	+ 7.3%	△ 2.7%	6.5%	<b>6.4%</b>
連結調整	△ 132	△ <b>163</b>	△ 32	-	-	1	△ <b>1</b>	△ 2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	+ 4%
工業用テープ	+ 28%
UV硬化型樹脂	+ 10%
PPSコンパウンド	+ 7%
アクリル樹脂	+ 2%
ウレタン樹脂	+ 6%
水性樹脂	+ 16%
ポリエステル樹脂	+ 10%
中空糸膜モジュール	+ 7%

エポキシ樹脂は、生成AIサーバー、PC、スマートフォン関連の高付加価値製品の出荷が好調となり品目構成の改善に貢献した。工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み増収。モビリティ関連の製品は、PPSコンパウンド、水性樹脂、ウレタン樹脂などの出荷が堅調だった

## ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 星光PMC等の事業撤退影響を補正した場合の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	2023 2Q	2024 2Q
ファンクショナルプロダクツ	1,494	1,391	△ 103	△6.9%	67	106	39	+ 58.3%	4.5%	7.6%
撤退した事業	207				12					
補正後 ファンクショナルプロダクツ	1,287	1,391	104	+ 8.1%	55	106	51	+ 92.7%	4.3%	7.6%

- ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	2023 2Q	2024 2Q	増減	増減比	2023 2Q	2024 2Q
ケミトロニクス事業本部	248	286	38	+ 15.4%	27	40	14	+ 50.9%	10.8%	14.1%

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

# 連結損益計算書

(億円)	2023 2Q	2024 2Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
<b>売上高</b>	<b>5,153</b>	<b>5,388</b>	<b>235</b>	<b>+ 4.6%</b>	<b>△1.5%</b>
売上原価	△ 4,206	△ 4,257	△ 51		
販売費及び一般管理費	△ 847	△ 912	△ 65		
<b>営業利益</b>	<b>100</b>	<b>219</b>	<b>120</b>	<b>+ 120.3%</b>	<b>+ 116.7%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>1.9%</b>	<b>4.1%</b>	-		
金融収支	△ 24	△ 27	△ 2		
持分法投資損益	9	10	1		
為替差損益	△ 10	3	13		
その他	△ 3	△ 6	△ 3		
<b>経常利益</b>	<b>71</b>	<b>200</b>	<b>129</b>	<b>+ 180.4%</b>	
特別利益	5	48	43		
特別損失	△ 23	△ 91	△ 68		
<b>税前利益</b>	<b>53</b>	<b>157</b>	<b>104</b>		
法人税等	△ 40	△ 87	△ 47		
<b>中間純利益</b>	<b>13</b>	<b>70</b>	<b>57</b>		
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 3	△ 6	△ 3		
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>10</b>	<b>64</b>	<b>54</b>	<b>+ 543.7%</b>	
<b>EBITDA*</b>	<b>328</b>	<b>438</b>	<b>110</b>	<b>+ 33.6%</b>	

特別損益の内訳	2023 2Q	2024 2Q
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	5	39
関係会社株式及び出資金売却益	-	9
<b>特別損失</b>		
関係会社株式及び出資金売却損	-	△ 45
リストラ関連退職損失	△ 8	△ 32
固定資産処分損	△ 6	△ 12
減損損失	△ 9	△ 2

## ■ 平均レート

	2023 2Q	2024 2Q
USD/円	135.88	152.13
EUR/円	146.91	164.43

\*EBITDA：親会社株主に帰属する中間純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

# 財務体質

(億円)	2023 期末	2024 2Q末	増減
ネット有利子負債	4,414	4,426	12
自己資本	3,639	4,106	467
ネットD/Eレシオ *1	1.21倍	1.08倍	
自己資本比率	29.2%	30.7%	
1株当たり純資産 (円)	3,844.70	4,336.58	

⚠ 円安による為替換算調整勘定拡大により自己資本が増加

\*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

## ■ 期末レート

	2023 期末	2024 2Q末
USD/円	141.32	160.95

# 通期の業績見通し

- 売上高は修正無し
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正

(億円)	2023	2024 見通し	増減比	前回見通し	
売上高	10,387	11,000	+ 5.9%	11,000	
営業利益	179	400	+ 122.9%	300	
営業利益率	1.7%	3.6%	-	2.7%	
経常利益	92	350	+ 279.8%	250	
親会社株主に帰属する当期純利益	△399	160	黒字化	100	
1株当たり純利益 (円)	△421.06	168.99	-	105.64	
EBITDA*1	308	930	+ 201.7%	820	
設備投資・投融資	733	586	△20.0%	631	
減価償却費・のれん償却額	531	552	+ 4.0%	539	
平均レート					
	USD/円	140.51	156.00	+ 11.0%	145.00
	EUR/円	151.98	169.00	+ 11.2%	156.60

	2023	2024 見通し
ROIC*2	1.5%	3.4%
ネットD/ELレシオ *3	1.21倍	1.06倍
年間配当/株 (円)	80.0	100.0
配当性向	-	59.2%

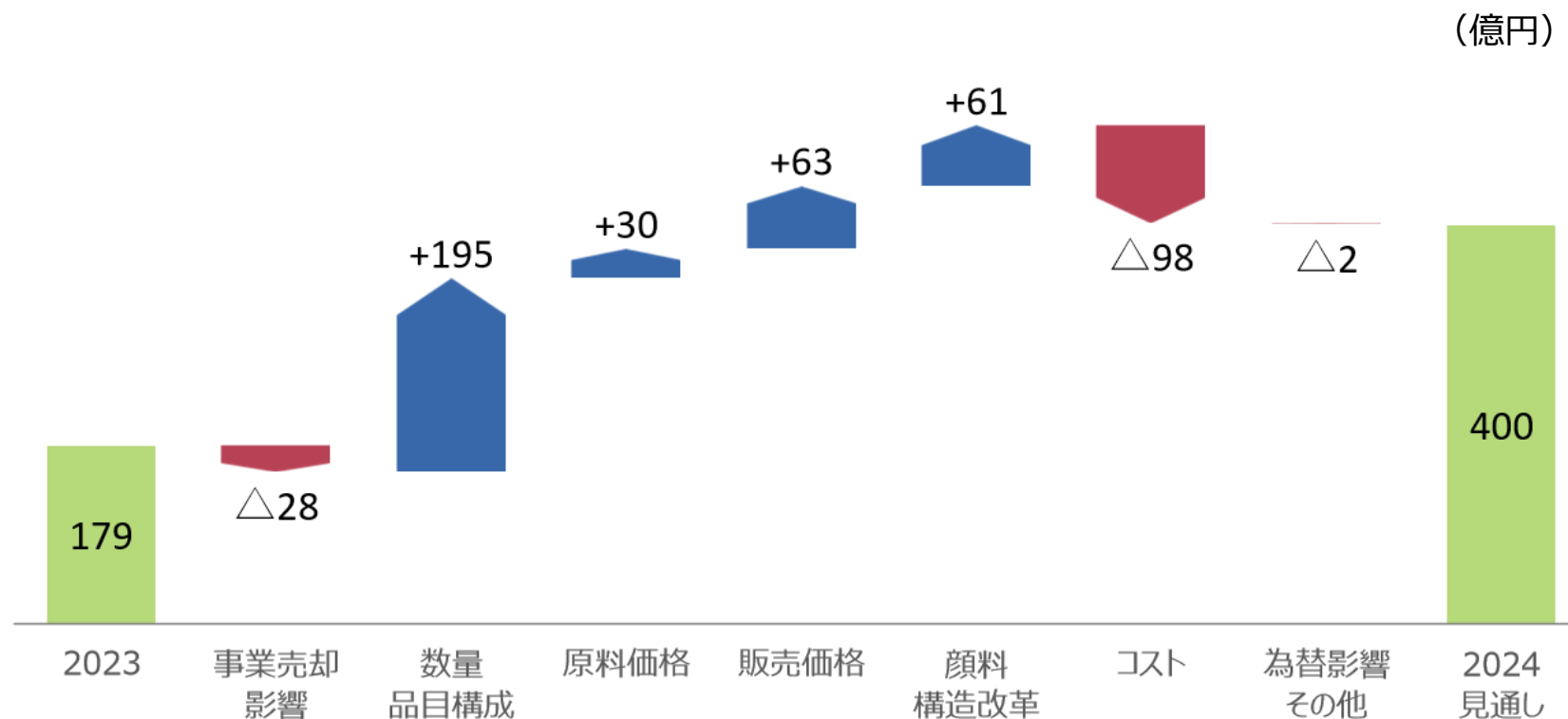
\*2ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債+純資産)

\*3ネットD/ELレシオ：ネット有利子負債/自己資本

\*1EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益+法人税等合計+支払利息-受取利息+減価償却費+のれん償却額

## 2024年度：営業利益増減要因

- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷が増加し、品目構成が改善
- 国内では円安やサプライヤーの採算是正值上げにより下期から原料価格は値上がり傾向。原料動向に合わせた適切な価格対応を実施
- 海外では原料は国内と比較して安定的に推移しているが、地域や製品に合わせた価格対応により利益の確保に努める



# セグメント別営業利益見通しの修正

(億円)

	2024年度 当初計画	2024年度		今回 見通し	前回差
		上期 実績	下期 見通し		
パッケージング&グラフィック	225	163	146	309	83
カラー&ディスプレイ	40	4	△ 4	1	△ 39
日本	52	28	36	64	12
海外	△ 12	△ 22	△ 41	△ 63	△ 51
連結調整	0	△ 2	2	0	0
ファンクショナルプロダクツ	156	106	90	195	39
その他、全社・消去	△ 121	△ 53	△ 51	△ 104	16
連結合計	300	219	181	400	100

- 海外において値下げ圧力の高まりを織り込むが、高い利益水準を維持
- 日本では需要回復に加え、ディスプレイ用顔料の安定的な出荷が見込まれ、当初計画を上回る見通し
- 海外では欧州地域において顧客の需要回復が遅れているため、出荷数量は当初計画を下回る見通し。季節要因により、海外での下期の出荷数量は上期よりも減少する見通しだが、グローバルでの製品値上げ、合理化の推進により、セグメントの黒字確保を図る
- 引き続きエレクトロニクス・モビリティに関連した製品の出荷回復が続くが、日本で原料価格が値上がり傾向であるため、上期対比では営業利益が減少する見通し

# 通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率		前回見通し	
	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	2024 売上高	2024 営業利益
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	5,419	<b>5,815</b>	396	+ 7.3%	220	<b>309</b>	89	+ 40.5%	4.1%	<b>5.3%</b>	5,779	225
日本	1,240	<b>1,312</b>	72	+ 5.8%	46	<b>62</b>	16	+ 34.3%	3.7%	<b>4.7%</b>	1,301	49
米州・欧州	3,490	<b>3,709</b>	219	+ 6.3%	131	<b>183</b>	52	+ 39.7%	3.8%	<b>4.9%</b>	3,711	127
アジア他	825	<b>951</b>	126	+ 15.3%	42	<b>63</b>	22	+ 52.2%	5.1%	<b>6.7%</b>	909	49
連結調整	△ 135	△ <b>157</b>	△ 22	-	1	<b>0</b>	△ 1	-	-	-	△ 142	0
<b>カラー&amp;ディスプレイ</b>	2,273	<b>2,682</b>	409	+ 18.0%	△ 89	<b>1</b>	90	黒字化	-	<b>0.0%</b>	2,752	40
日本	320	<b>358</b>	37	+ 11.6%	41	<b>64</b>	23	+ 56.3%	12.8%	<b>17.9%</b>	375	52
海外	2,095	<b>2,494</b>	400	+ 19.1%	△ 130	△ <b>63</b>	67	赤字減	-	-	2,545	△ 12
連結調整	△ 142	△ <b>170</b>	△ 28	-	0	<b>0</b>	△ 0	-	-	-	△ 168	0
<b>ファンクショナルプロダクツ</b>	3,059	<b>2,931</b>	△ 128	△ 4.2%	154	<b>195</b>	41	+ 26.2%	5.0%	<b>6.7%</b>	2,922	156
日本	2,029	<b>1,807</b>	△ 223	△ 11.0%	70	<b>107</b>	37	+ 53.6%	3.4%	<b>5.9%</b>	1,778	68
海外	1,302	<b>1,409</b>	107	+ 8.2%	85	<b>88</b>	3	+ 4.0%	6.5%	<b>6.3%</b>	1,419	88
連結調整	△ 272	△ <b>285</b>	△ 12	-	0	<b>0</b>	△ 0	-	-	-	△ 275	0
その他、全社・消去	△ 364	△ <b>428</b>	△ 64	-	△ 106	△ <b>104</b>	1	-	-	-	△ 454	△ 121
<b>連結合計</b>	<b>10,387</b>	<b>11,000</b>	613	+ 5.9%	179	<b>400</b>	221	+ 122.9%	1.7%	<b>3.6%</b>	11,000	300
USD/円	140.51	<b>156.00</b>		+ 11.0%	140.51	<b>156.00</b>		+ 11.0%			145.00	145.00
EUR/円	151.98	<b>169.00</b>		+ 11.2%	151.98	<b>169.00</b>		+ 11.2%			156.60	156.60



# ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 星光PMC等の事業撤退影響を補正した場合の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し
ファンクショナルプロダクツ	3,059	2,931	△ 128	△4.2%	154	195	41	+ 26.2%	5.0%	6.7%
撤退した事業	404				28					
補正後 ファンクショナルプロダクツ	2,655	2,931	277	+ 10.4%	127	195	68	+ 54.0%	4.8%	6.7%

- ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部の業績

低誘電化ニーズをとらえ高周波対応のプリント基板やパッケージ基板向けのエポキシ樹脂が伸長。見直し後の長期経営計画で設定した2025年度営業利益計画80億円を前倒しで達成する見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し
ケミトロニクス事業本部	533	614	81	+ 15.2%	60	80	20	+ 32.4%	11.3%	13.0%


## その他の主なトピックス (2024年5月～7月)

ニュースリリース  
<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/> 

6月 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に9年連続で選定

6月 PFASフリー界面活性剤が「半導体・オブ・ザ・イヤー2024」半導体用電子材料部門で優秀賞受賞

6月 2025年12月末をもって泡消火薬剤事業からの撤退することを発表






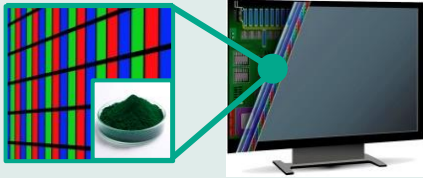




7月 統合報告書『DICレポート2024』を発行 IR Library <https://www.dic-global.com/ja/csr/annual/> 

7月 世界的なESG投資指標「FTSE4Good Index」の構成銘柄に6年連続で選定

7月 業界初、食品接触可能で耐油性・耐水性に優れたコーティング剤「HYDRECT®」がプラスチックフィルム不使用の紙製フードケースに採用

# 事業セグメントと主要製品

2023年度実績数値

	パッケージング&グラフィック	カラー&ディスプレイ	ファンクショナルプロダクツ
提供価値	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>5,419億円 220億円 4.1%</p> <p>包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>2,273億円 △89億円 -</p> <p>表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>3,059億円 154億円 5.0%</p> <p>機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する</p>
	主要製品	<p>パッケージ用インキ</p>  <p>フィルム インキ 接着剤 フィルム</p> <p>包装材料 ←ポリスチレン ↓多層フィルム</p> <p>接着剤</p>  <p>ジェットインキ</p>  <p>屋外看板用途</p>  <p>バナー用途</p> 	<p>ディスプレイ用顔料</p>  <p>化粧品用顔料</p>  <p>スペシャリティ用顔料</p> <p>農業用途</p>  <p>建材用途</p>  <p>塗料用顔料</p> <p>プラスチック用顔料</p> <p>インキ用顔料</p> 

# セグメント別四半期業績推移 (参考)

(億円)	売上高						営業利益					
	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	1,315	1,350	1,384	1,369	1,374	<b>1,490</b>	36	47	56	81	73	<b>90</b>
日本	304	311	303	322	297	<b>335</b>	5	12	12	17	15	<b>22</b>
米州・欧州	862	873	891	864	904	<b>966</b>	26	29	27	49	46	<b>53</b>
アジア他	190	199	219	217	212	<b>231</b>	7	7	14	14	14	<b>16</b>
連結調整	△ 40	△ 33	△ 29	△ 33	△ 39	△ 42	△ 1	△ 1	2	1	△ 2	△ 1
<b>カラー &amp; ディスプレイ</b>	605	574	577	517	635	<b>708</b>	14	△ 15	△ 43	△ 44	△ 5	<b>9</b>
日本	81	83	79	77	74	<b>95</b>	10	14	10	7	10	<b>17</b>
海外	555	533	536	471	595	<b>655</b>	4	△ 29	△ 53	△ 51	△ 14	△ 8
連結調整	△ 31	△ 42	△ 38	△ 31	△ 35	△ 42	0	0	△ 0	0	△ 1	△ 0
<b>ファンクショナルプロダクト</b>	734	759	794	772	651	<b>740</b>	31	35	46	42	40	<b>65</b>
日本	500	508	506	515	417	<b>461</b>	11	13	21	24	24	<b>39</b>
海外	298	319	357	329	310	<b>366</b>	19	21	26	19	17	<b>26</b>
連結調整	△ 64	△ 68	△ 69	△ 72	△ 76	△ 88	0	1	△ 1	△ 0	△ 0	△ 0
その他、全社・消去	△ 102	△ 83	△ 92	△ 87	△ 102	△ 107	△ 21	△ 27	△ 27	△ 31	△ 24	△ 29
<b>連結合計</b>	<b>2,552</b>	<b>2,601</b>	<b>2,663</b>	<b>2,571</b>	<b>2,558</b>	<b>2,831</b>	<b>60</b>	<b>40</b>	<b>32</b>	<b>48</b>	<b>85</b>	<b>135</b>

## 連結貸借対照表 (参考)

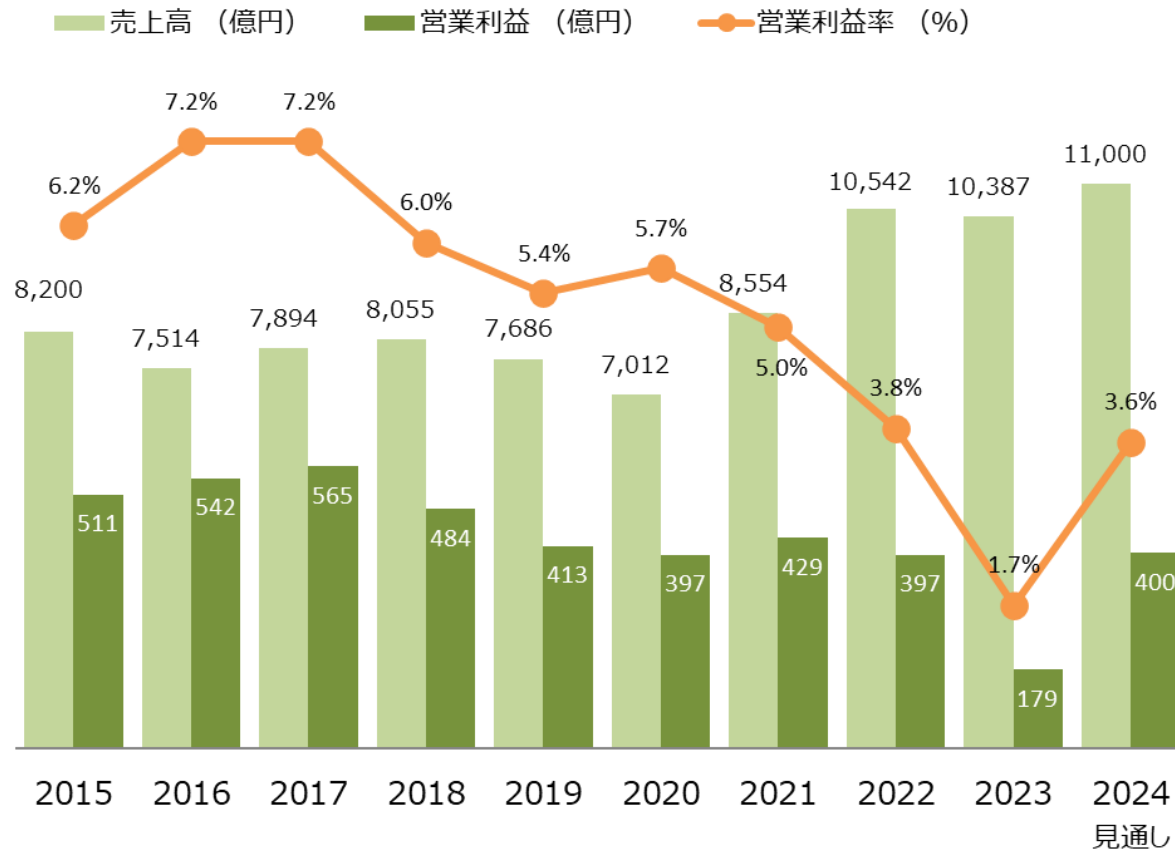
(億円)	2023 期末	2024 2Q末	増 減
流動資産	6,202	7,006	804
有形固定資産	3,739	3,763	25
無形固定資産	689	736	47
投資その他の資産	1,819	1,878	59
<b>資産合計</b>	<b>12,449</b>	<b>13,383</b>	<b>934</b>
流動負債	3,487	3,861	374
固定負債	4,969	5,223	254
<b>負債合計</b>	<b>8,456</b>	<b>9,084</b>	<b>628</b>
株主資本	3,625	3,662	37
その他の包括利益累計額	14	444	430
(為替換算調整勘定)	(126)	(584)	(458)
非支配株主持分	353	193	△ 161
<b>純資産合計</b>	<b>3,993</b>	<b>4,299</b>	<b>306</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,449</b>	<b>13,383</b>	<b>934</b>
有利子負債残高	5,290	5,640	350
現預金残高	875	1,214	338
ネット有利子負債	4,414	4,426	12

## 連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

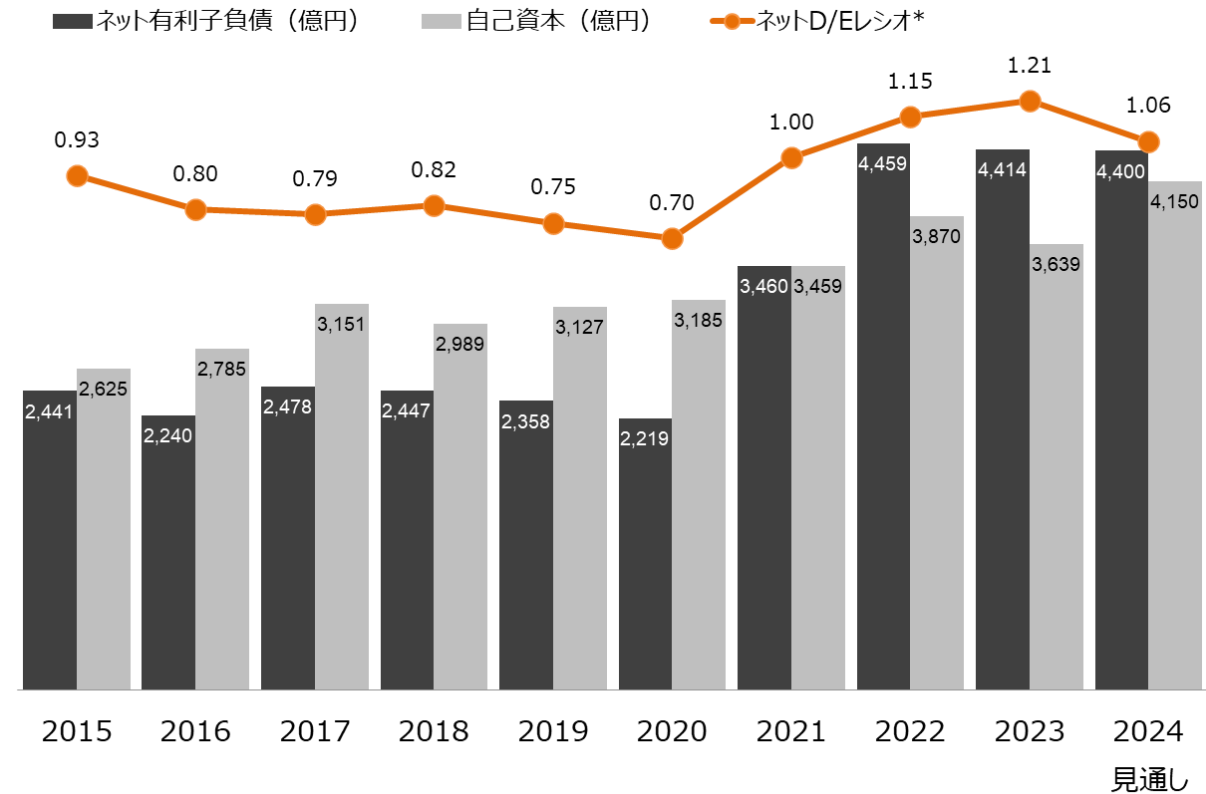
(億円)	2023 2Q	2024 2Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	72	145	74
投資キャッシュ・フロー	△ 452	△ 72	379
財務キャッシュ・フロー	471	185	△ 286
現金及び現金同等物の期末残高	725	1,200	475
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 380</b>	<b>73</b>	<b>453</b>
運転資本の増減額	△ 45	△ 183	△ 138
設備投資・投融資	455	245	△ 210
減価償却費・のれん償却額	253	261	7

# 業績の推移 (参考)

## 業績



## 財務体質

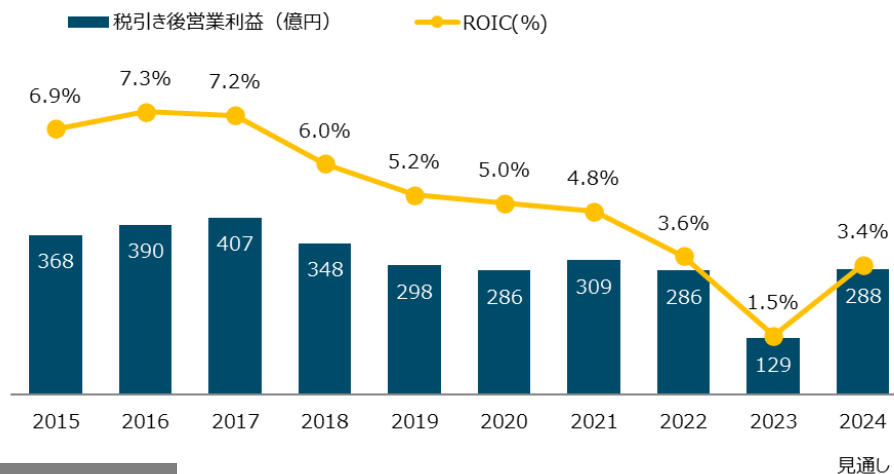


\* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

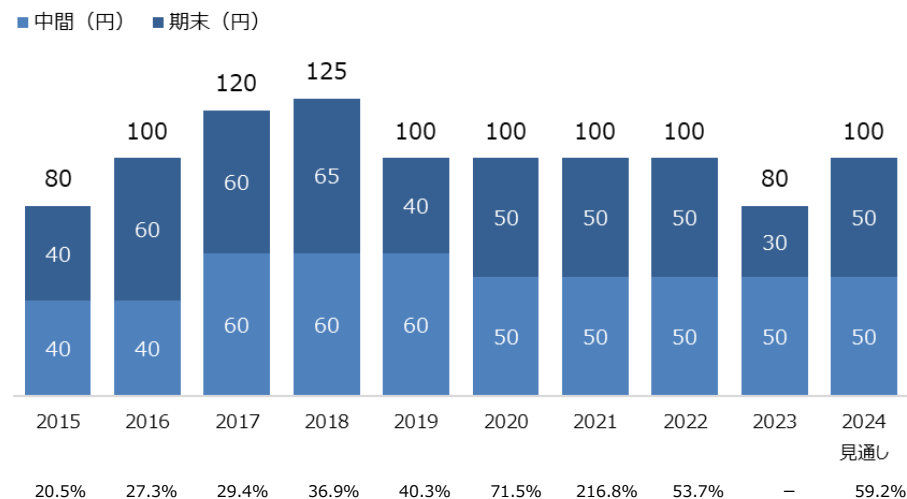
# 業績の推移 (参考)

## ROIC\*

\*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)



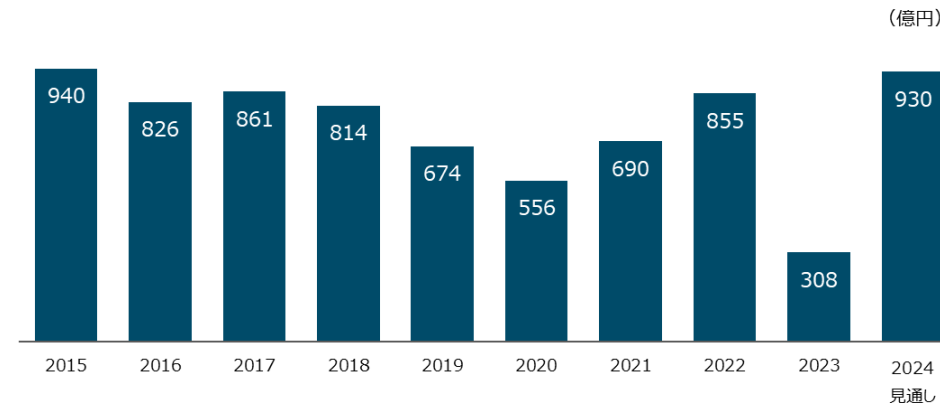
## 株主還元\*



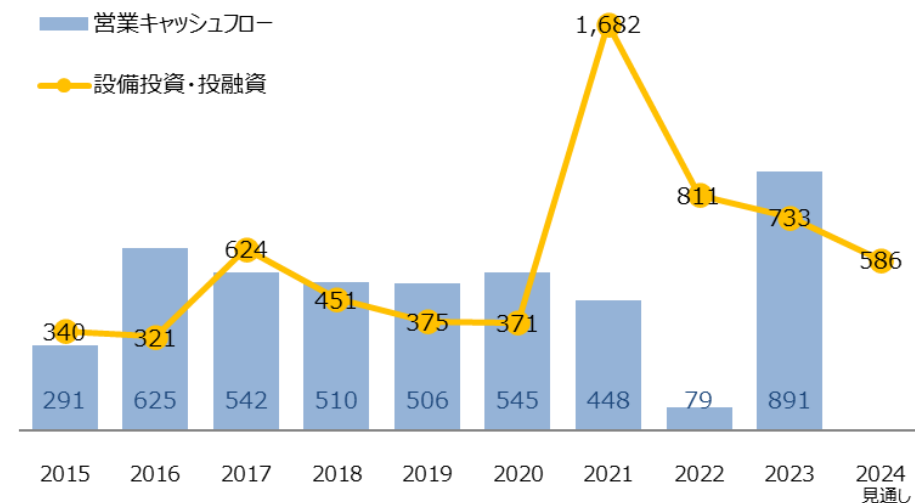
\* 株式併合の影響を調整しています

## EBITDA\*

\*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



## 設備投資・投融資・営業キャッシュフロー





## <予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。  
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、  
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。  
ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、  
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation